

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホームひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	「地域とともにあるホーム」との意識を持ち、地域との交流・連携に注力している。恒例の「朝市」が年間6回開催され、職員や地域住民が店を出す。「朝市」では、地域の産物やだんご、採れたての野菜、フリーマーケット等が立ち並ぶ。毎月1回、ホームの1室を子育てサークルに提供し、人気の高いクリスマス会等には、10組ほどの親子が集まる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営会議には、区・福祉課長や地域包括支援センター所長、連合自治会長、民生委員会会長等々、関連部門の役職者の出席が目立つ。毎回家族の出席も5～7名ある。会議の冒頭で法人代表の挨拶があり、運営推進会議の法的設置義務及び目的（基準省令第85条）を読み合わせた後、議事に入っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に出席した地域包括支援センターの所長や職員から、区の取り組みである「家族介護相談室」、「サロン」、「認知症サポーター養成講座」等の案内がある。生活保護受給者の受け入れ態勢は整えているが、現在対象となる利用者はおらず、福祉課保護係との直接的な関連はない。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議には毎回多くの家族が参加し、ホーム運営の状況報告を聞き取り、協議の場では家族の立場で意見や要望を述べている。毎月、「ほほえみ便り」を発行し、家族のもとへ利用者の笑顔の写真を届けている。遠方に住む家族にとっては、待ち遠しく、うれしい便りとなっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎